

こだいしょうがいしゃ
せいかつおうえんがいと
おーえん

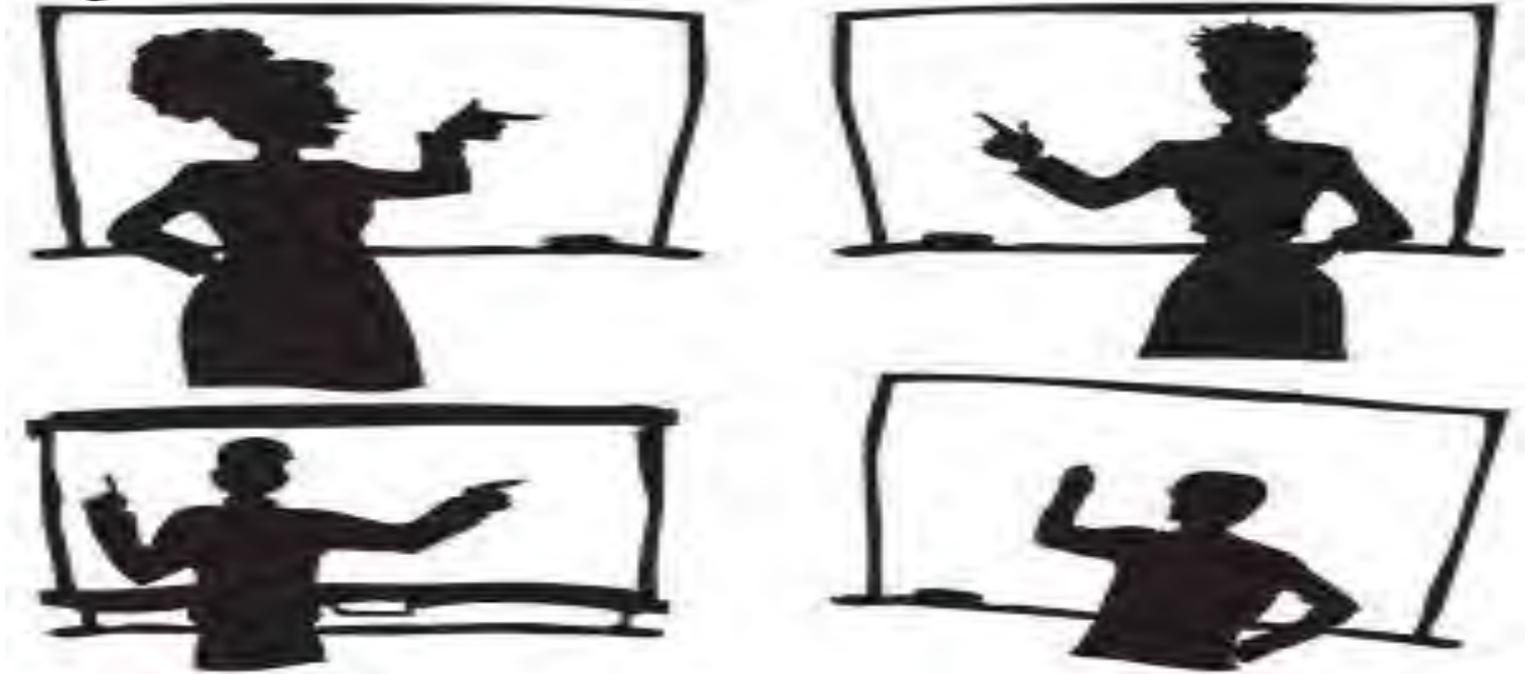
だいじゅうごう
へいせい27ねん
4がつ10か

こだいしょうがいしゃ 生活応援ガイド

Onen

お～えん

第10号
平成27年4月10日



リカバリーカレッジってなに？

平成26年12月に「イギリスに学ぶリカバリーカレッジ」というテーマで、自立支援協議会の委員である添田さんの講演会の内容を、今回は掲載します。中身の濃い話を、できるだけわかりやすくまとめましたので、楽しんでお読みください。

主催学習会 「イギリスのリカバリーカレッジを学ぶ」 報告

小平市地域自立支援協議会委員

添田雅宏

平成26年12月19日（金）小平市福祉会館に学習会「イギリスのリカバリーカレッジを学ぶ」を開催し55名の参加者がありました。これは私、添田が昨年8月イギリスへ研究視察に行ったことを中心に報告させていただいたものです。私は長い間、精神医療保健福祉の分野で働いてきましたが、この度念願かなって福祉の先進地であるイギリスに行くことができました。

当日はまず、「リカバリー」は何かについてお話をしました。言葉の定義はまだ定まっていないのですが、「精神疾患にかかってしまったという破滅的な経験を受け入れ、人生の新しい意味を見つけること、あるいはその過程。希望を軸に責任ある役割を持ち生きていく。」などがいわれています。



イギリスは、このリカバリーという考え方を国の施策の中心に据え、リカバリーをすることが、病気の症状を抑えることと同じくらいだと位置づけました。そしてリカバリーをするためには、当事者自らが「リカバリーストーリー」を語るができるという理念のもと、「リカバリーカレッジ」が設置されました。これは入院中から開始され、大学と同じように様々な講座が設けられます。3か月コース、6か月コースなどがあります。学費は無料で、NHSと呼ばれる国のサービスから支給されます。また、ここでは、専門職や家族、友人も患者さんと一緒にリカバリーについて学ぶことができます。また、リカバリーカレッジは、ピアワーカーと呼ばれる、精神疾患を経験したソーシャルワーカーが中心となり運営しています。

私からの話が終わった後たくさんの質問が寄せられ、関心の高さを感じました。また、講演会終了後に提出いただいたアンケートには、回答者36名のうち31名の方が「満足」「ほぼ満足」と答えていただき、日本でもリカバリーカレッジができないかとの感想が多く寄せられました。



【おしらせ】

第3回 当事者部会をつくる会 ミーティング

日時 平成27年6月6日（土）

午後1時30分から

会場 福社会館 第2集会室

内容 ・今年度の活動の方針について
・活動の方向性を知るために、当事者部会がある
地域自立支援協議会へのアンケートの内容について

*この会を、応援してくださる方も同時に募集しています。

連絡先 ひびき 稲垣

★O~en（お～えん）は、ホームページでも見ることができます。

<アドレス> <http://www.syakaifukushi.kodaira.tokyo.jp>

ホームページでは以下のように進んでください。

[小平市社会福祉協議会](#)>[自立生活支援センターひびき](#)>[自立支援協議会](#)>[「お～えん」](#)

【発行：作成】

小平市地域自立支援協議会 情報部会

【問い合わせ】

小平市地域自立支援協議会 事務局

小平市障がい者地域自立生活支援センターひびき

〒187-0043 小平市学園東町1-19-13

福社会館2階 TEL (042) 341-6555

FAX (042) 341-6220

次回発行は、
平成27年9月を
予定しています。

こだいら障がい者生活応援ガイド「お～えん」では、皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております。
上記の事務局（小平市障がい者地域自立生活支援センターひびき）までお寄せください。よろしく申し上げます。